

—食と緑が支える豊かな「あま」をめざして—



食と緑の

海部地域

レポート

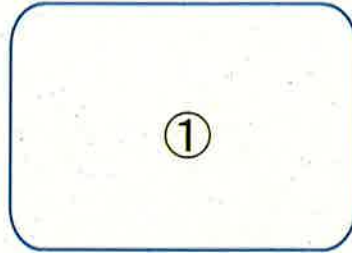
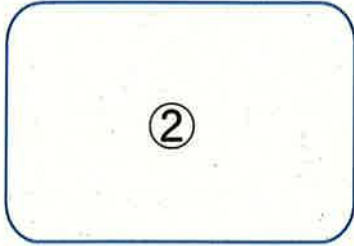
2019



令和元年7月  
海部農林水産事務所

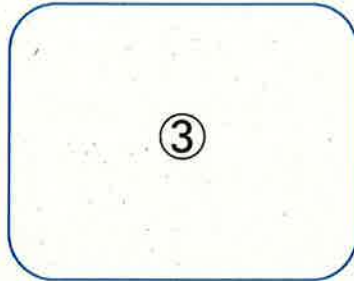


==表紙の写真説明==



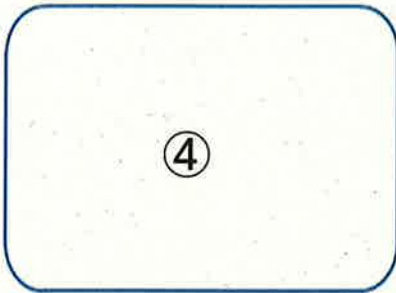
① 愛西市特産のレンコン

② 小学校での花育教室

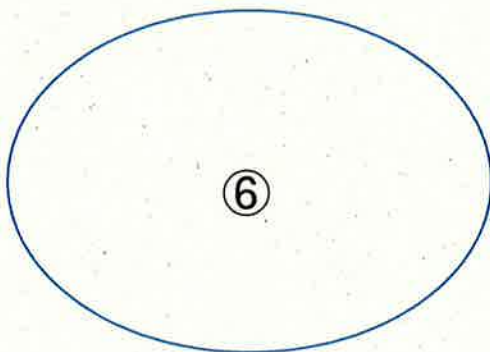


③ 排水機場での現地見学会  
かにぼう  
(蟹宝排水機場：蟹江町)

④ 海部地域いともあいち即売会  
(JAあいち海部  
南部営農センター)

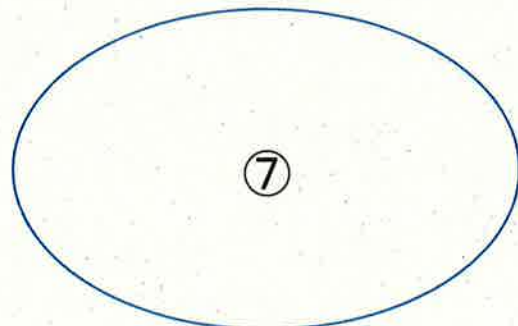


⑤ 花き市場での商談会



⑥ 沖之島地域水環境整備（あま市）

⑦ 飛島第一排水機場（飛島村）



# 食と緑の海部地域レポート目次

I	食と緑の海部地域レポート作成の趣旨	1
II	海部地域における主な取組	2
1	競争力の高い農林水産業の展開による食料等の安定的な供給の確保	
(1)	あいちの強みを生かした技術による品質や生産性の向上	
	<b>施策目標① 新技術・新品種の本格的導入</b>	2
(2)	マーケットインの視点に立った生産・流通の改善と需要の拡大	
	<b>施策目標② 戦略作物の作付比率の維持・向上</b>	3
(3)	意欲ある人が活躍できる農業の実現	
	<b>施策目標③ 新規就農者の確保</b>	4
	<b>施策目標④ 担い手への農地集積</b>	4
	<b>施策目標⑤ 農業水利施設の整備・更新</b>	5
(4)	食品の安全・安心の確保と環境への配慮	
	<b>施策目標⑥ 食品表示遵守状況調査の計画実施</b>	5
2	農林水産業への理解促進と食料等の適切な消費の実践	
(1)	農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進	
	<b>施策目標⑦ 「いいともあいち運動」の推進</b>	6
	<b>施策目標⑧ 小学生等を対象とした花育教室の開催</b>	7
	<b>施策目標⑨ 小学生を対象とした排水機場現地学習会の開催</b>	8
(2)	食育の推進による健全な食生活の実践	
3	自然災害に強く緑と水に恵まれた生活環境の確保と元気な地域づくり	
(1)	災害に強く安全で快適な生活環境の確保	
	<b>施策目標⑩ 農村地域の防災・減災対策</b>	9
(2)	森林・農地・漁場の有する多面的機能の発揮	
III	食と緑の基本計画2020海部地域推進プランの進捗状況	11

## I 食と緑の海部地域レポート作成の趣旨

平成28年3月に「食と緑の基本計画2020」が策定されました。

この「食と緑の基本計画2020」は、「食と緑が支える県民の豊かな暮らしづくり条例」に基づき、その理念を実現するための基本計画であり、令和2年度を目標年度としています。

そして、海部農林水産事務所は、この「食と緑の基本計画2020」の推進事項のうち、海部地域の特徴を踏まえ、重点的に取り組む事項を定めた実践計画として「食と緑の基本計画2020海部地域推進プラン」を平成28年7月に策定しました。

この「食と緑の海部地域レポート2019」は、「食と緑の基本計画2020海部地域推進プラン」に掲載した海部農林水産事務所の各種の取組について、2018年度の実践状況を、とりまとめ報告するものです。



「食と緑が支える県民の豊かな暮らしづくり条例(平成十六年三月二十六日条例第三号)」

== 抜 粋 ==

第三条 食と緑が支える県民の豊かな暮らしづくりは、次に掲げる事項が推進されることを基本理念として行われなければならない。

- 一 将来にわたって安全で良質な食料等の安定的な供給が確保され、かつ、その適切な消費及び利用が行われること。
- 二 将来にわたって森林等の有する多面的機能が適切かつ十分に発揮されることにより、安全で良好な県民の生活環境が確保されること。

## II 海部地域における主な取組

### 1 競争力の高い農林水産業の展開による食料等の安定的な供給の確保

#### (1) あいちの強みを生かした技術による品質や生産性の向上

##### 施策目標① 新技術・新品種の本格的導入

○県育成品種クルクマ「アイルージュ」の導入による経営の安定

海部地域は、鉢花生産が、盛んな地域ですが、気温が高い6～9月に出荷する品目が少なく、高温期での収入確保が経営的な課題でした。

そこで、平成24年度から耐暑性に優れたクルクマ品種「アイルージュ【平成23年品種登録】(写真1)」の導入を鉢花農家に推進し、30～40歳代の若手生産者を中心に「海部花き連クルクマ研究会」を立ち上げました。平成25年度から出荷が始まり、栽培農家は夏場の収入が増加しさらに出荷鉢数を増やす意欲をもっています。



アイルージュ



商品ラベル



花き市場での商談会

## (2) マーケットインの視点に立った生産・流通の改善と需要の拡大

### 施策目標② 戦略作物の作付比率の維持・向上

#### ○需要に応じた生産の推進

需要が増加傾向にある戦略作物の麦、飼料用米、加工用米等の作付を推進しています。

平成30年度は、前年並みの1,444haで作付されています。



飼料用米に利用できる新品種「もみゆたか」

#### ○6次産業化の推進について

農山漁村の活性化とマーケットインの視点に立った生産・流通の改善と需要の拡大への取組として、6次産業化を推進しています。

平成30年11月23日(金・祝)～24日(土)に金山総合駅連絡通路橋イベント広場で開催された「あいちの農林水産フェア」に、弥富市鍋田の(有)鍋八農産が自社生産の米を使ったポン菓子やつぶせん(米つぶ煎餅)を、また、蟹江町商工会が地元産の白いちじくを砂糖とレモン汁と純米酒だけで煮込んだ「白いちじくコンポート」等の和洋菓子を出品し、6次産業化に取り組んでいただきました。



(有)鍋八農産出展のポン菓子、つぶせん



蟹江町商工会出展の和洋菓子

### (3) 意欲ある人が活躍できる農業の実現

#### 施策目標③ 新規就農者の確保

##### ○平成30年度の新規就農者について

新たに就農される方を支援するため、課内に農起業支援センターを設け、新規就農を希望する個人、企業等の相談に応じています。

平成30年度には計10人（延べ13回）の相談を受け、営農する農地の確保、栽培に関する農業技術の習得等、就農に向けて計画的に準備ができるように支援しました。



就農相談の様子

##### <新規就農者数>

区 分	23年度～27年度	28年度	29年度	30年度	小 計
新規学卒	16	7	3	2	12
Uターン	28	10	3	12	25
新規参入	10	3	4	8	15
中高年Uターン	6	1	0	4	5
中高年新規	2	0	0	0	0
合 計	62	21	10	26	57

※中高年：45歳以上65歳未満をいいます。

※各年度とも前年5月2日から当該年5月1日までの1年間に就農した人数

#### 施策目標④ 担い手への農地集積

平成26年度から農地集積を目的として新たに事業として始まった「農地中間管理事業」等により、農地の担い手への集積面積は3年間で1,031ha増となりました。

その結果、海部地域における平成30年度末の担い手への農地集積は、目標を大きく超え3,799haとなり、集積率では51.1%となりました。

この集積率は、県全体の集積率36.9%を大きく上回り、県内でも有数の集積が進んだ地域となっています。



## 施策目標⑤ 農業水利施設の整備・更新

### ○老朽化した農業水利施設の整備更新による農地の生産性の維持

老朽化した農業水利施設の整備更新事業を行った結果、用水の安定供給や適切な排水を行うことができ、平成30年度末までに1,513haの農地の生産性が維持されました。

#### ・農業水利施設保全対策事業

芝井川排水機場(弥富市)及び孫宝第二排水機場(弥富市)において、機器の整備更新を行っています。

#### ・地盤沈下対策事業

木曾川用水の内佐屋支線(愛西市)及び市江支線(愛西市)の農業用水路の整備を完了し、木曾川用水の光西支線(愛西市)において、農業用水路の整備を行っています。

#### ・特定農業用管水路特別対策事業

松之郷、梅之郷地域(飛島村)、日置地域(愛西市)及び森津地域(弥富市)において、老朽化した石綿セメント管、塩化ビニル管(φ75~450)の更新を行っています。



農業用水路の整備(愛西市)  
〔地盤沈下対策事業〕



石綿セメント管の撤去(弥富市)  
〔特定農業用管水路特別対策事業〕

## (4) 食品の安全・安心の確保と環境への配慮

### 施策目標⑥ 食品表示遵守状況調査の計画実施

「食品表示は一目瞭然」を合い言葉に、平成21年度から毎月第1木曜日を「食品適正表示の日」と定め、食品表示の適正化を推進しています。

この「食品適正表示の日」を中心に、延べ40回、管内の食品販売事業者や米穀販売事業者を対象に、遵守状況調査を実施し、食品表示の適正化を図りました。



## 2 農林水産業への理解促進と食料等の適切な消費の実践

### (1) 農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進

#### 施策目標⑦「いいともあいち運動」の推進

##### ○海部地域いいともあいち即売会の開催

「地産地消」の取組として、「いいともあいち運動」を推進しています。

平成30年11月3日及び4日にあいち海部農業協同組合南部営農センターで開催された「JAあいち海部フェスタ2018」において、地域のいいとも会員が、地元産のレンコン、いちじくなどを使った和洋菓子を販売し、「いいともあいち運動」のPRを行いました。



いいともあいち会員による即売会

##### ○いいともあいち推進20周年記念表彰について

「消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこう」という「いいともあいち運動」が、平成30年度で20周年を迎えたことから、平成30年12月13日に愛知県庁本庁舎6階正庁で優良な団体を対象に、「いいともあいち運動推進20周年記念表彰」が行われました。

海部地域からは、地元農産物の消費拡大をめざし、地産地消や6次産業化、食育や農業体験活動へ積極的に取り組んだ「あいち海部農業協同組合」と、「道の駅」という立地を活かし、愛西市特産のレンコン料理の提供や、産直コーナーでレンコンを始めとした地元農産物の消費拡大に取り組んだ「立田ふれあいの里運営連絡協議会」の2団体が、いいともあいち運動に対する積極的な取り組みが認められ表彰されました。

#### 「あいち海部農業協同組合」



地元農産物を使った加工品



農業体験活動の様子

#### 「立田ふれあいの里運営連絡協議会」



愛西市特産のレンコン



「道の駅」産直コーナーの様子

## 施策目標⑧ 小学生等を対象とした花育教室の開催

### ○花育教室の開催

花や緑が身近にある生活の実現をめざすため、津島市立高台寺小学校始め5校で「花育教室」を開催したところ、249人の児童に参加いただきました。

開催校
津島市立東小学校
津島市立高台寺小学校
愛西市立西川端小学校
あま市立正則小学校
蟹江町立新蟹江小学校



小学校での花育教室（津島市）

### ○海部苗木花き展示品評会即売会の開催

海部苗木花卉生産組合連合会や管内市町村、農業協同組合と連携して、平成30年4月14日・15日の2日間、弥富市にある海南こどもの国で開催し、花育教室などを行い、多くの県民の方に参加いただきました。

また、11月3日にも「海南こどもの国秋まつり」で花育教室を開催しました。



海南こどもの国での花育教室(弥富市)

### ○森林の学習の開催

森林の働きや木材の性質を知り、親しみを感じてもらうために「森林の学習」を津島市立神守小学校始め6小学校で開催し、319人の児童に参加いただきました。

開催校
津島市立神守小学校
津島市立西小学校
愛西市立開治小学校
愛西市立西川端小学校(2回実施)
愛西市立立田北部小学校
弥富市立十四山西部小学校



森林の学習（津島市）

### ○木育イベントの開催

海部木材組合と連携し、平成30年11月3日、4日の2日間にわたり、弥富市の「海南こどもの国秋まつり」の中で、「きになる?! 木のおへや」と題したイベントを開催しました。

家造りの体験や焼きペンコースターづくりなど、多くの子供たちに参加いただき、木に触れ、ぬくもりを感じ、木に親しんでもらうことができました。



「きになる?! 木のおへや」(弥富市)

### 施策目標⑨ 小学生を対象とした排水機場現地学習会の開催

小学生を対象にした排水機場現地学習会を、8箇所の排水機場(津島市、愛西市、弥富市、あま市、蟹江町、飛島村)において9回開催し、農業農村整備事業の役割、必要性についてPR活動を行いました。9校、約350人の児童が参加しました。

市町村	排水機場名	学 校 名
津島市	五八	蛭間小学校
愛西市	鷹場	開治小学校
愛西市	勝幡	勝幡小学校
弥富市	鍋田南部	栄南小学校 大藤小学校
弥富市	孫宝第二/新孫宝	十四山東部小学校
あま市	鷹居	伊福小学校
蟹江町	蟹宝	須西小学校
飛島村	日光川河口	飛島学園飛島小学校



排水機場での現地学習会  
(勝幡排水機場:愛西市)

## (2) 食育の推進による健全な食生活の実践

### ○海部地域食育推進ボランティア研修交流会の開催

食育推進ボランティアと市町村の食育担当者との交流と相互の連携を深めるとともに、食育に関する知識の向上とその共有を図るために、「海部地域食育推進ボランティア研修交流会」を平成30年10月2日に海部総合庁舎において開催し、総勢34名が参加しました。



コーミ(株)営業企画課長村尾氏による  
「知っていますか？ソースの魅力」の講演

### 3 自然災害に強く緑と水に恵まれた生活環境の確保と元気な地域づくり

#### (1) 災害に強く安全で快適な生活環境の確保

##### 施策目標⑩ 農村地域の防災・減災対策

排水機場や排水路の改修事業を行った結果、排水機能を増強することができ、平成30年度末までに1,527haの区域で洪水による被害を未然に防止しました。

- ・ たん水防除事業

古瀬排水機場（愛西市）、鷹場排水機場（愛西市）、四ヶ村排水機場（あま市）の新設ポンプの稼働を開始し、飛島排水機場（飛島村）の改修を行っています。

- ・ 地盤沈下対策事業

神守地域（津島市）2路線の排水路の改修を行い、1路線を完了しました。

- ・ 緊急農地防災事業

椶場地域（弥富市）の排水路の改修を完了し、立田地域（愛西市）において、排水路の改修を行っています。



古瀬排水機場（愛西市）



神守地域の排水路（津島市）

## (2) 森林・農地・漁場の有する多面的機能の発揮

- 多面的機能支払事業を活用した農地や自然環境等の保全の取組に対する支援
  - ・ 農地を保全するための、あぜ・排水路等の草刈りや清掃、水路の泥上げ等の活動を行っている、6市町村49活動組織に対して支援をしました。



あま市北苅環境保全会の草刈り清掃活動



愛西市西保地域保全会の泥上げ活動

- ・ 農家と地域住民との交流、農村環境の確認のための生物の生息状況の確認活動に対して支援をしました。



あま市沖之島環境保全会による生き物調査

### Ⅲ 食と緑の基本計画2020海部地域推進プランの進捗状況

主な取組項目		H29年度		H30年度	
施策目標	目標値	実績	進捗状況	実績	進捗状況
○あいちの強みを生かした技術による品質や生産性の向上					
① 新技術・新品質の本格導入	5年間で5件	1件	◎	1件	◎
○マーケットインの視点に立った生産・流通の改選と需要の拡大					
② 戦略作物の作付比率の維持・向上	5年後19%を維持	19%	◎	19%	◎
○意欲ある人が活躍できる農業の実現					
③ 新規就農者の確保	5年間で60人	累計 31人	◎	累計57人	◎
④ 担い手への農地集積面積	5年後に3,483ha	3,559ha (累計378ha増)	◎	3,799ha (累計240ha増)	◎
⑤ 農地や農業水利施設等の整備・更新面積	5年間で3,174ha	累計833ha (計画833ha)	◎	累計1,513ha (計画1,437ha)	◎
○食品の安全・安心の確保と環境への配慮					
⑥ 食品表示遵守状況調査	毎年40件	40件	◎	40件	◎
○農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進					
⑦ 「いいともあいち運動」ネットワーク会員・推進店の新規加入	5年間で20件	累計17件	◎	累計27件	◎
⑧ 小学生等を対象とした花育教室の開催	毎年3回	8回	◎	8回	◎
⑨ 小学生を対象とした排水機場現地学習会の開催	毎年7回	11回	◎	9回	◎
○災害に強く安全で快適な生活環境の確保					
⑩ 農村地域の防災・減災対策面積	5年間で1,989ha	累計1,227ha (計画1,127ha)	◎	累計1,527ha (計画1,295ha)	◎

◎ 目標に対して100%以上

○ 目標に対して80%以上100%未満

△ 目標に対して80%未満